

作品名：清水 DNA 移植機

本作品の試みとしては、様々なものに新たなDNAという名の髪型を与える事によって、アニミズムを宿らせるためのツールを作成するという事に挑戦いたしました。

これまでデザイン言語の中で周りのマテリアルやそれらのマテリアルをつなぎ合わせるためのツールなどを組み合わせてブリコラージュを作成している中で、自分というマテリアルを使用する事を考えました。また、そのツールを様々なマテリアルと組み合わせることを考え、どのようなマテリアルとくみあわす

右の図 作者が様々買ってきたものにまげをつける。



作品の中のデザイン言語

作品の中のデザイン言語としては、実際に様々なものにまげをつけているのか、それとともにアイデンティティを根付かせているのか、または生物的にするツールなのかといったことを追求することができた作品でした。まげ自体が自分の髪の毛でもあるために、自分のDNAを扱っているということを意識した作品でもありました。

制作のデザイン言語

作品の中は授業でこれまで実践してきたブリコラージュを意識して、様々な周りの物に試作をし、気づいた事にまた再構築するといったプロセスを踏みました。まげの作品の中では地毛を使用しているために、整え方や固め方などに工夫が必要である。そのために、様々なものに試して、固め方宿の傾きが一番いいのかなど探りながら作成した作品でした。



まげを人形的なものにつけるとそれほどの効果が見られず

町中のものにまげをつけるワーク

本作品の制作過程を示すダイアグラム



作者がまげである



最近 SFC ではまげ髪型
が増えてる



まげは髪型を超えたアイデンティティ
もしくは地位を表すものなのか



まげを添えたみかん

